

今月の1冊から 2016年7月～9月 7月(ミニ展示より)『槍ヶ岳山頂』

川端 誠// 作 BL 出版



小学5年生の男の子がお父さんといっしょに、「アルプス銀座」とよばれる北アルプスーの人気コースにある燕岳(つばくろだけ)と槍ヶ岳(やりがたけ)を2泊3日で縦走(じゅうそう)するおはなしです。早朝に家を出て、電車・バスを乗りつぎ登山口へ。ここからいよいよ登山がはじまります!いきなりの急こう配(ばい)におどろきながらも登って行くと、燕岳(つばくろだけ)の山小屋に着きます。よく朝、雲海(うんかい)にのぼるご来光(らいこう)を見て、槍ヶ岳(やりがたけ)目指して出発!急な下りや上りがくりかえされる道。ハシゴやクサリがかかっている難所(なんしょ)もあります。急に雨もふり出し、ガスもかかってきて足元しか見えなくなり、登るのがつらくなってきます。涙(なみだ)をこらえて歩いて歩いて歩き続けた時、空を見上げると…。写真のような美しい山々の絵。高山植物もたくさんえがかれていて、また、見返しのページには2泊3日のルート図や山小屋のスタンプものっているので、まるで自分もいっしょに登山した気分になれますよ!

8月『ガラシとクルピラ』

陣内 すま// 文 ヴァンペレーラ// え 福音館書店

ブラジルのむかしばなしです。



アマゾンかわのほとりに、ガラシという男(おとこ)の子(こ)がすんでいました。ガラシはとうさんと狩(か)りにいきたいとおもっていましたが、かあさんは「クルピラのこともしらなくてはね。」といます。グルピラとはいったいなにものなのでしょう。ある日、ガラシは狩りにいくおとこたちについていったのですが、みんなのすがたをみうしなってしまう。そこへあらわれたのは、ほのおのようにもえるひのいろの目(め)やかみのけをもったクルピラでした。ガラシはおそろしくてうごくことができず、きをうしなっていました。おそろしいすがたのグルピラですが、どうぶつをまもり、森(もり)のしぜんをまもっているのです。ガラシはそんなグルピラのおしえをみをもってしまったのです。ゆたかなしぜんをまもりながらくらすことのたいせつさをしるおはなしです。

9月『おおかみようちえんに ようこそ』

ひがし あきこ// 文・絵 偕成社



おかのうえにようちえんができました。むらのこどもたちが、そっとうちえんにいってみると、おおかみのがおーせんせいがありました。こどもたちをみたがおーせんせいは、うれしくなって「がおーがおー」とさけんでしまいました。こどもたちはびっくり! おどろいてにげだしてしまいました。にゅうえんしきのひになっても、だれもやってきません。そこで、がおーせんせいとおくさんせんせいは、すてきなようちえんバスをつくりむらまでむかえにいったのですが…。

おおかみって、こわいのかな? いえいえ、そんなことはありません。がおーせんせいたちみたいな、とてもやさしいおおかみもいるんですよ。

みんなもむらのこどもたちといっしょにおおかみようちえんにいってみませんか?